

News Letter

2025年

1月

中国四国農政局
高知県拠点

空飛ぶピーマン、抜群の鮮度でお届け！

合同会社公文（芸西村）

高知県では、ビニルハウスなどを活用して効率的に生産を行う「施設園芸農業」が盛んです。その中でも黒潮の影響から温暖な気候に恵まれ、長い日照時間の芸西村で水耕栽培によるピーマンの栽培を行っているのが合同会社公文です。同社は、半径200メートル範囲内の7棟（約2ヘクタール）のハウスを15名の従業員で効率よく栽培し、自社の選果場から毎日1.5トンを出荷しています。



（ハウス内で説明をする公文代表）

鮮度にこだわる「空飛ぶピーマン！」

ピーマンは、朝早くから収穫し、自社の選果場で選別、箱詰めした後、高知龍馬空港から羽田空港に配送する採れたて鮮度にこだわった「空飛ぶピーマン」として出荷しています。



（水耕栽培のピーマン）



（自社集荷場の様子）

高知県産の野菜の多くはトラックで輸送され、翌々の東京市場で取引されますが、同社のピーマンは高知空港を15時台発のJAL便に積み込めば22時頃には東京市場に到着し、その日のうちに量販店まで配送される体制となっています。

旅客機による新たな流通モデルを実践

ピーマンは収穫して時間がたつと、ヘタの切り口が黒ずんできますが、同社のピーマンは切り口が白く、みずみずしいため、東京市場では近隣の関東産ピーマンより鮮度がよいと評価されています。

旅客機の貨物スペースを活用したスピード輸送は、物流の2024年問題の解決に寄与するとともに、高知県野菜を採れたての鮮度抜群の状態ですべての消費者に届ける新たなカタチとして、一層の流通効率化、物流生産性の向上が期待されます。



（貨物スペースに積み込まれるピーマン）



令和7年2月1日現在

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>